

ヘリや艦載機の墜落 レーガン乗組員の薬物使用関与 繰り返される米海軍の事件・事故

大村「今年に入って、6月議会では、覚醒剤、9月議会では大麻、そして今回はLSD。ぜんぜん、米海軍は改善されていない。市長が教育プログラムを視察したことは大変重要なこと。さらに厳しく米海軍をとらえるべきだ。」

市長「米軍だけ取り上げる意味がわからない。米軍だろうが日本人だろうが、薬物はいけない。」

大村「犯罪は米軍だろうが日本人だろうが悪いものは悪い。決まっている。問題は日米地位協定のもとで、米軍が特別扱いされていることということなのだ。」



↑ 11月12日に起こったレーガン艦載機 FA-18 戦闘攻撃機が沖縄の海上に墜落した件で、はたの君枝衆議院議員とともに防衛省、外務省から聞き取りを行いました。

米海軍教育プログラムとは？

日本に赴任するにあたっての心構えの講話や薬物や飲酒についての指導が行われています。毎週、横須賀基地にはじめて赴任する軍人軍属家族に対しておこなわれています。

基地司令官曰く「米海軍が日本に駐留するのは平和と自由を守るためである。たった1人の不適切な行動が米国の信頼失墜につながる。1人1人がアメリカの代表である自覚をせよ。アメリカの親善大使以上の存在になってほしい。地域の一員になってほしい。」

私が6月議会で視察に行くべきと提案したことを受けて、上地市長は11月26日視察しました。当日は180名が受講したと言います。

日米地位協定 全国知事会は全会一致で抜本改定 しかし、横須賀市長は 運用見直しで良いと公式答弁

耳を疑う答弁です。運用見直しで良いとする公式答弁は47都道府県全国知事会の地平を否定する重大かつ深刻な答弁です。明らかに日米地位協定の認識にズレがあります。認められるわけはありません。今後も旧軍港市転換法と基本計画との整合性、日米の基地機能強化の問題等、引き続き追及してまいります。



弁護士の無料法律相談

時間：夕方5時から7時

おひとり30分

場所：浦賀の大村洋子事務所

12/20木 1/18金 2/21木

ご予約をお願いします。

大村洋子 090-1107-0498へ

編集後記
早いもので、今年ももう終わりですね。
次号では一年間の活動の振り返りと委員会での質疑を中心にお伝えします。
暖かかった11月が過ぎて、12月はどうでしょう。お元気で、年の瀬をお迎えください。

